3, 1982—Type in TNS).

Among the members of the imperfect fungi, no genus has ever been discovered to show such a characteristic combination of features as external appearance like the genus *Rhizopogon* and the production of the conidia. Accordingly the present genus occupies the unique position in the Fungi Imperfecti.

3) **Cordyceps hirotaniana** Y. Kobayasi, sp. nov. (Fig. 4)

Stromata simplicia, singularia, carnosa, 4-5.5 mm longa, aurantia. Stipes 2-3×0.2-0.3 mm. Pars fertilis cylindrica, 2-2.5×0.5 mm. Perithecia paullo oblique ordinata, subsuperficialia, aurantia, glabra, 300-320×160-180 μm. Asci 3 μm diam., capitibus 2.5 μm crassis. Ascosporae immaturae.

Nom. Jap. Beniiro-kuchiki-mushitake.

Hab. Growing on larva of Coleoptera. Kawarayu, Gumma Pref. (Masao Hirotani, Sept. 1982—Type in TNS).

* * * *

本報では *Corallofungus hatakeyamanus, Pseudorhizopogon sudae, Cordyceps hirotaniana* の3新種を収録した。*Corallofungus* と *Pseudorhizopogon* は，それぞれハリタケ科および不完全菌類に属する新属である。これらのタイプ標本は国立科学博物館の標本庫に納める。

□大迫町立山岳博物館(編)：**早池峰の植物** 273 pp. 1983. 大迫町(発行). ¥13,000. 早池峰は岩手県のほぼ中央にある北上山地の最高峰で，高山植物の宝庫といわれて特産種や分布上興味ある種類も多く，また低山帯から高山帯にわたって豊かな植生がいろいろと見られることでも有名である。12年前正面の登山口に建てられた町立の山岳博物館では動植地学などの展示紹介とともに山の自然の調査研究を行なってきた。本書はその成果の一部をなすもので代表的な植物および植生の写真約270枚，種類にして約180種を収めている。写真はすべてカラーで地元カメラクラブの4氏が長年にわたって好期を追い続けて撮ったものだけに植物の特徴をよく捉えており，A4の大きなページ一ぱいに美しい花を見せている。各種類ごとの解説は同館学芸員で植物に詳しい玉川七郎氏によるものでおもしろく書かれている。また巻末には同氏の早池峰山植物研究小史と603種を収録した早池峰連峰産高等植物目録が載っていて，この方面の植物を研究する者にとって大いに役立つものである。なお本書全般を通じて奥山春季氏が監修をされている。

(伊藤　洋)